

## ミニギャラリー

# 伝統を守る

六井 未来 様

▲熊野第一小学校 6年 永津 藍



【評】字配りよく、のびのびと書かれています。

【話】木の幹は、クレヨンをていねいにひつかいて模様がつくれました。木のまわりで遊んでいる自分や動物、木になる果物などていねいに描き、絵の具やコントの特長を生かして色をおいています。

型の典型です。この方法では、芽鱗に包み花吹くと、夏の終わり頃まで順に1枚ずつ葉を開いていきます。開いた葉で光合成をして、得たエネルギーで枝を伸ばし次の葉を開いていくのです。「順次開葉

は、道路沿いで見られます。雲母林道、海上側などでは、道路沿いで見られます。

【写真・文】 緑花文化士 富沢由美子

▲熊野第一小学校 3年 武者 雛子

熊野第一小学校3年生  
加良 勇輔くん



## 小田の題材

### 町の人口と世帯数

平成18年1月31日  
(前年同月比較)

人口 : 25,977人 (-125)  
男 : 12,630人 (-83)  
女 : 13,347人 (-42)  
世帯数 : 10,054世帯 (+85)

### 熊野の自然 (198)

ケヤマハンノキ  
(カバノキ科)



春をみつけに出かけませんか。熊野の山で最初に咲く花の一つです。

枝先に尾状に垂れ下がっているのが雄花穂で、2～5個づきます。黄褐色の雄花が密集しています。紅色の卵型が雌花穂で、3～5個。雌花の色が何とも言えず美しく、春が来る度ルーペでのぞきます。

花は、葉が開く前に咲きます。葉に遮られずに、風に花粉を運んでもらえます。芽吹くと、夏の終わり頃まで順に1枚ずつ葉を開いていきます。開いた葉で光合成をして、得たエネルギーで枝を伸ばし次の葉を開いていくのです。「順次開葉

まれた冬芽をつくる余裕はありません。代わりに、春一番先に開く葉の托葉が厚くなつて芽を守っています。

葉は互生。長さ7～13cmの幅広い橢円形です。5～8に浅く裂け、縁に鋸歯があります。毛は多いものから少ないものまであります。

果穂は長さ1.5～2.5cmの卵型です。小さな果実には狭い翼があり、秋落葉するとき風に乗って飛んでいきます。日本全国に分布する落葉高木で、溪流沿いによく生えます。やせ地でも育つのと共生しているからです。

事業主のみなさん

広告掲載を募集中!

2号広告 (縦4.5cm×横8.6cm)  
ページ下1段の2分の1相当  
・カラー(裏表紙) : 20,000円  
・白黒 (P16～19) : 10,000円

※表記の金額は1ヶ月分の掲載料です。

詳しくは、企画課情報推進係まで TEL 820-5602

### 広告掲載料に割引は?

1回の申し込みで3ヶ月分以上の申し込みが条件となります。

月 数	率
3月以上6月末満	5 %
6月以上9月末満	10 %
9月以上12月末満	20 %
12月 清	30 %

「熊野町の火災と救急」については、「生活だより」(P17) の欄外へ掲載しています。



「広報くま」は再生紙に「ソイシール」の認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。

広報くまの

平成18年3月号

20